

Mizuho Daily Market Report

2025/2/27

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	149.50	149.10	+0.07	▲2.37
EUR	1.0495	1.0485	▲0.0029	+0.0062
AUD	0.6328	0.6305	▲0.0039	▲0.0039
SGD	1.3380	1.3388	+0.0025	▲0.0041
CNY	7.2572	7.2578	+0.0068	▲0.0210
MYR	4.4310	4.4288	+0.0046	▲0.0145
THB	33.78	33.71	+0.00	+0.02
IDR	16380	16370	+25	+40
PHP	57.90	57.89	▲0.05	▲0.20
INR	87.21	87.20	+0.00	+0.25
VND	25551	25551	+32	+31

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.256%	▲3.8 bp	▲27.7 bp
日本(10年)	1.367%	▲0.6 bp	▲6.8 bp
ユーロ圏(10年)	2.433%	▲2.5 bp	▲12.4 bp
オーストラリア(5年)	3.952%	▲2.6 bp	▲15.2 bp
シンガポール(5年)	2.696%	+1.5 bp	▲10.4 bp
中国(5年)	1.608%	▲0.8 bp	+8.4 bp
マレーシア(5年)	3.598%	+0.0 bp	▲2.6 bp
タイ(5年)	2.023%	▲3.4 bp	▲6.4 bp
インドネシア(5年)	6.672%	+0.8 bp	+9.5 bp
フィリピン(5年)	5.830%	▲0.3 bp	▲5.2 bp
インド(5年)	6.620%	+0.0 bp	▲2.2 bp
ベトナム(5年)	2.430%	+0.0 bp	▲1.3 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	43,433.12	▲0.4%	▲2.7%
N225(日本)	38,142.37	▲0.2%	▲2.6%
STOXX50(ユーロ圏)	5,527.99	+1.5%	+1.2%
ASX(オーストラリア)	4,726.18	+0.7%	+0.1%
FTSTI(シンガポール)	3,908.05	▲0.2%	▲0.7%
SSEC(中国)	3,380.21	+1.0%	+0.9%
SENSEX(インド)	74,602.12	+0.0%	▲1.8%
JKSE(インドネシア)	6,606.18	+0.3%	▲2.8%
KLSE(マレーシア)	1,588.71	+1.3%	+0.5%
PSE(フィリピン)	6,144.96	+1.3%	+0.4%
SETI(タイ)	1,231.14	+2.1%	▲2.5%
VNINDEX(ベトナム)	1,302.96	▲0.0%	+1.1%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	305.18	▲0.4%	▲3.6%
金	2,916.39	+0.0%	▲0.6%
原油(WTI)	68.62	▲0.4%	▲5.0%
銅	9,448.27	+0.9%	+0.2%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	147.90	—	152.80
EUR/USD	1.0200	—	1.0600
AUD/USD	0.6085	—	0.6430
USD/SGD	1.3310	—	1.3500
USD/CNY	7.2410	—	7.3240
USD/INR	4.3800	—	4.5430
USD/THB	33.20	—	35.15
USD/IDR	16100	—	16500
USD/PHP	57.65	—	59.20
USD/VND	24,100	—	25,600

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (8)	>	Bear (0)
USD/SGD	Bull (7)	>	Bear (1)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel. 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は149円丁度付近でオープン。日経平均株価が軟調に推移し、一時148円台半ばへ下落。その後は米金利上昇に伴い高値で推移し、149円台半ばへ値を戻して海外時間へ渡った。アジア通貨は軒並み小動き。昨日、タイ中銀は定例の金融政策決定会合で予想外の金利引き下げ(▲0.25%)を決定。直後は一時的にパーツ売りとなる瞬間も見られたがすぐに買い戻され、ドルパーツは前日比ほぼ変わらずで着地。

海外市場のドル円は149円台半ばでスタート。手がかりが多くない中、米金利の上昇を背景とした買いが優勢となり、ドル円は底堅く推移し、149円台後半でNYオープン。午前中に発表された米1月新築住宅販売件数が予想を下回った他、トランプ大統領が対カナダとメキシコへの関税案実施を4月に延期するとの発言を背景にドル売り優勢となり、149円台前半へ下落。午後は米金利が下げ幅を拡大する動きが一段の重しとなり148円後半へ値を下げたがその後は下げ渋り、149円前半でクロースした。

【金利】

昨日の米10年債は低下。NY時間午前、弱い経済指標の発表を背景に金利は低下。NY時間午後、FRBボスティブック総裁がこれまでのインフレの足取りについて「進展が見えてきた」と評価するコメントが発せられるも市場の反応は限定的。その後、対カナダ・メキシコへの追加関税に関するヘッドラインが流れると金利は再度低下で反応し、前日比▲3.8bpの4.256%でクロースした。

【予想】

本日のドル円は引き続き上値の重い展開を予想。昨日も低調な米経済指標の発表が続き、これに反応し米金利は引き続き低下地合いにあり、足元はドル円は下向きバイアスが強まっている状態。但し、これにドライブをかけるようなイベントは本日特段予定されておらず、値幅は限定的となる。

【本日の予定】

(日本) 国債入札(2Y)

(アジア) 4Q 豪 民間設備投資
(アジア) 4Q 韓国 短期対外債務
(欧州) 1月 独 小売売上高
(欧州) 2月 ユーロ圏 景況感 / 消費者信頼感(確)
(欧州) 2月 ユーロ圏 鉱工業信頼感指数 / サービス業信頼感指数
(欧州) 2月 仏 PPI
(欧州) 伊 国債入札(5Y、10Y)
(米国) 1月 中古住宅販売仮契約
(米国) 1月 耐久財受注(速) / 製造業受注-資本財(速)
(米国) 2月 カザンシティ連銀サービス業活動
(米国) 4Q GDP / GDP価格指数
(米国) 4Q コアPCE価格指数
(米国) ハマック・グループ連銀総裁講演
(米国) 新規失業保険申請件数

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。